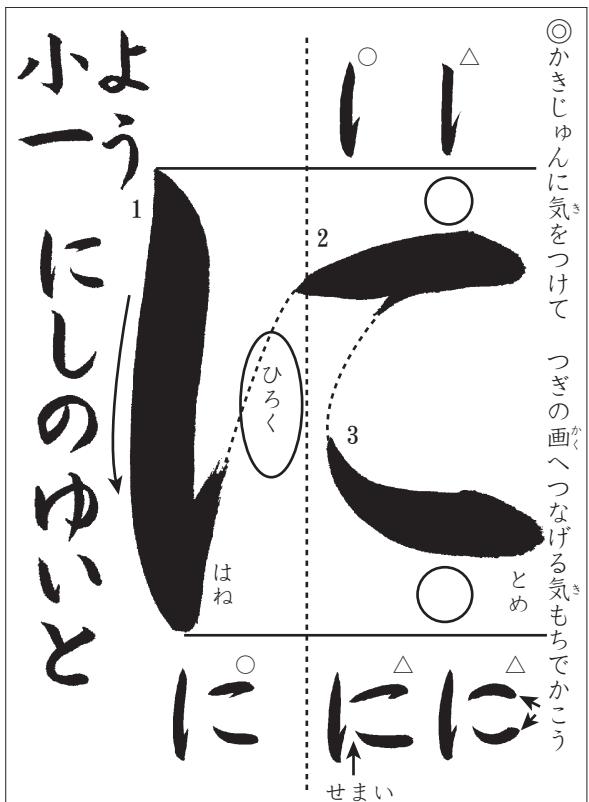


幼児・小一

光野 美香

小一

見方 弘子



◎作者・大伴家持（七一八～七五八）  
万葉集より

〈読み〉月夜 つきよ  
更に さら

清く照りたるこの月夜  
雨晴れて

また更にして

雲なたなびき 由美書

高、 大、 ○般	現段級
級	級
六 段	二 段
氏名	氏名
安田 智美	更科 由美

高・大・一般（行・草書と仮名）

米本 美雪

清く照りたるこの月夜  
雨晴れて  
また更にして  
雲なたなびき 由美書

高、 大、 ○般	現段級
級	級
六 段	二 段
氏名	氏名

野線ありの例	
高、 大、 ○般	現段級
級	級
六 段	二 段
氏名	氏名
安田 智美	更科 由美

◎用紙（罫線・枠）や書体はご自身の書写力に合わせて書いてください。  
◎枠のみの用紙には落款をご自身の名で「書」または「かく」と書き入れてください。

・行脈に留意（△に傾かないように）  
・中心に留意

△ 清く照りたる  
△ 雨晴れて  
△ また更にして  
△ 雲なたなびき

- ◎枠のみの用紙に書く時の注意点
- (1) 行が揺らぐと読みにくく整然としないので、文字の中心を通すように心がけましょう。
  - (2) 偏らないようあらかじめ配置を考えましょう。
- ◎「雨」（単独形）が「雲」（雨冠）になると、部分がどのように変化するのか確認しましょう。